

KYOWA
FILM

★教育映画祭優秀作品賞受賞★

40th アジア太平洋映画祭参加作品

★シカゴ国際児童映画祭 第2位 受賞★

おに(世界40ヶ国・450本の作品の中から、こども達が投票で選んでくれました。)

鬼の子とゆきうさぎ

企画・製作 八頭司 享

アニメーション映画

原作 高柳克弘 キャラクター原案 猎野富貴子(ひくまの出版刊)

優秀映画賞
青少年育成委員会推薦
日本アーティスト映画会議推薦
トマ全団審議会推薦
協議会推薦

中学一年生が書いた愛の童話
メルヘン

鬼の子は夜明の風の中を走ります。

たいせつなものを とどけるために――！

鬼の子と人間の子どもの
あたたかい友情が

子どもたちの 心に響きます。

声の出演

日々良 純

鬼の子 浦和めぐみ
おとう郷里 大輔
ユキ 山崎和佳奈



監督 大谷 恒清

プロデューサー 茂呂清一 脚本 黒田義之 音楽 森 琢磨

作画監督 柳瀬譲二 美術監督 脇 威志 摄影監督 渡辺英俊

制作協力/東映動画株式会社/タバック/東映化工/メルヘン社/青二プロ

制作/共和教育映画社

おに 鬼の子と ゆきうさぎ

企画・製作 八頭司 亨
アニメーション映画

監督 大谷恒清 作画監督 柳瀬譲二 美術監督 脇 威志 原作 高柳克弘 キャラクター原案 狩野富貴子 脚本 黒田義之



鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れている、やさしさや、おもいやりの心、家族のぬくもりが、あたたかい感動として伝わってきます。

〈ストーリー〉

鬼の子の家は、人里から離れた山奥の、その又奥にあります。しんしんと降り続く雪は、野山を真っ白にしています。夜も更け、お父うが帰ってきました。

「ほら、おみやげだ。」と、鬼の子に赤い手鞠を渡します。人間の村の、ユキという子の家の前で拾ってきたと言います。鬼の子は、ちくんと胸が痛みました。

せっかく、お父うに貰ったけど、きっとユキという子は、この手鞠を探しているはずだ、返してあげよう、と思いました。

次の日の朝、鬼の子は、雪の中を人間の村へ向かって走ります。人間の村では、こども達が「お山のキツネのかあさん風邪ひいたコンコン・・・」と楽しそうに、唄っています。鬼の子も、嬉しくなりました。小さな家の前まで来ますと、縁側で女の子が寂しそうにポツンと座っています。そっと近づきますが、見つかってしまいました。「わたしの名前はユキ、あなたは誰?」・・・鬼の子は、黙ってユキに手鞠を渡します。ユキのほっぺは赤くなり「これ捜していたの。病気のお母さんが作ってくれたの。ありがとう。」と大切そうに手鞠を抱き締めました。

鬼の子は、よかったですと思いました。

ユキは、積もったばかりの雪を丸めて、赤いナンテン



の実と葉をつけて「ほら、ゆきうさぎ。・・・手鞠のおかえしよ。」と、くれました。

鬼の子は、もと来た道を急ぎます。

山まで帰ってきたとき、雪の窪みに足を滑らせ、大事に抱えていたゆきうさぎを、ぽーんと投げ出してしまいました。ところが不思議なことに、何百もの“ゆきうさぎ”が、雪の中からでてきて飛び跳ねます。

そして、いつの間にか消えてなくなりました。

ふと、気がついで、足もとを見ると、赤いナンテンの実と葉っぱが落ちていました。鬼の子は、あのユキの、林檎のような赤いほっぺを思いだしました。

ある雪の晴れた夜、鬼の子は、月に向かって唄います。「お山のキツネのかあさん風邪ひいたコンコン・・・」同じ頃ユキも、月に向かって、「・・・コンコン」と唄っていました。

二人の姿は、月の光りに美しく輝いていました。



販売価格 ⑯ ¥262,500 ⑮ ¥63,000 (英語字幕版あり) DVD ¥63,000 (税込) 上映時間22分



共和教育映画社

〒530-0028 大阪市北区万歳町4-12 浪速ビル6F
TEL.06(6312)2645 FAX.06(6315)8595

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101